

指定管理者評価シート

事業名	月寒公民館運営管理費	所管課(電話番号)	教育委員会総務部生涯学習推進課(211-3871)
-----	------------	-----------	---------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市月寒公民館	所在地	豊平区月寒中央通7丁目
開設時期	昭和50年1月	延床面積	2019.82㎡
目的	教育、学術及び文化に関する各種の事業による生活文化の振興、社会福祉の増進		
事業概要	・高齢者教室に関すること ・公民館講座に関すること ・文化的展示会等に関すること ・施設の無料開放に関すること ・図書の貸し出し等に関すること ・月寒公民館の施設を使用に供すること		
主要施設	料理室、研修室、和室、体育室、図書室、駐車場		
2 指定管理者			
名称	札幌市月寒公民館運営委員会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：月寒公民館は、社会教育施設であるとともに、地域住民のためのコミュニティ施設としての機能を有するものであり、また、災害発生時の地域避難所としても位置付けられることから、地域住民との良好な関係に基づいた施設運営が求められる。このため、札幌市公民館条例第15条第2項の規定において、指定管理者に月寒公民館の管理を行わせている場合で、当該指定管理者に係る指定期間の満了後引き続き指定管理者の指定をしようとするときは、当該管理が良好に行われている場合に限り、指定手続きを非公募とすることができるとしている。月寒公民館運営委員会は、月寒地区町内会連合会を母体とする団体であり、地域団体との連携・交流を蜜に行っているとともに、地域の特色や課題を十分に踏まえた館の運営及び事業実施を行っている。また、指定期間中において、利用者のニーズに合った各種事業を実施し、利用率を向上させるなど、良好な管理運営実績を有していると認められる。以上から、非公募による指定手続きを行ったものである。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	①統括管理業務 ②施設・設備等の維持及び管理に関する業務 ③施設における事業の計画及び実施に関する業務 ④施設の利用等に関する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 月寒公民館は、老若男女を問わず、気楽に「集い」「学び」あえる施設であるという理念のもと、「地域社会づくりの拠点となるコミュニティ施設の確立を図る」との基本方針を策定している。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「利用者に対し、公平・平等な対応と職員の接遇の徹底」との方針を策定し、①公平・平等利用の徹底 ②社会的弱者に利用しやすい施設設備の維持 ③緊急時の迅速対応 という三方針のもと、特に平等利用の窓口対応の取り組みを行ってきた。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ・電気、ガス、水道の使用について、利用者の協力をいただきながら、CO₂削減に寄与している。 ・用紙類については、グリーン購入ガイドラインに沿って使用している。 ・札幌市環境マネジメントシステムに則し、各種帳簿を提出した。 ▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） ・事務分掌を定め、指揮・伝達系統、連絡体系を定め実践している。 ・研修については、職員を対象としたAED実技研修を再開した。 ・防災ドア等点検実施時に機能の確認、消火栓の扱い方等レクチャーを受けた。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 少ない職員数なので打ち合わせ等は行わず、各担当者や分掌からの伝達事項や意見、要望等を報告を逐一受け、共有化する中で管理水準の向上を期している。パート職員への伝達は直接または文書で「漏れ」なく行っている。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） 清掃業務、警備業務、ドア保守管理業務、消防設備点検業務、エレベーター管理業務、塵芥処理業務、外交緑地整備業務、除排雪業務等を第三者に委託し、適切な業務遂行を行った。	・管理運営基本方針、平等利用にかかわる方針の策定に伴う実績から検証して一定の成果を上げている。 ・平等利用にかかわる方針の策定に伴う実績から検証して一定の成果を上げている。 ・照明のLED化を進め、こまめな点灯・消灯を継続できていた。今後もさっぽろエコメンバーの一員としての自覚をもち行動していきたい。 ・運営組織の確立と事務分掌の徹底を図り漏れのない体制を継続・実施できた。 ・金銭の取扱いについて出納責任者の役職が不明確であったため、規定を改正した。 ・報告、連絡、相談等は継続・実施できた。 「札幌市暴力団の排除の推進に関する条例」に則し第三者委託を適正に実施できた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平等利用に係る取組や環境配慮等、適切な管理運営を行っており、要求水準は満たしていると認められる。</td> <td>・なお、指定管理者監査において、会計規程に定める出納責任者がどの役職の者を指すのかが明確では無いとの指摘を受けたため改善指導を行ったところ、是正が確認されたことから、要求水準は満たしたと認められる。</td> <td>・一方、現金取扱規程において、小口現金等の管理方法が明確ではないなどの指摘もあったことから、令和7年度中に必要な改定を行い、適正に運用するよう求める。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	・平等利用に係る取組や環境配慮等、適切な管理運営を行っており、要求水準は満たしていると認められる。	・なお、指定管理者監査において、会計規程に定める出納責任者がどの役職の者を指すのかが明確では無いとの指摘を受けたため改善指導を行ったところ、是正が確認されたことから、要求水準は満たしたと認められる。	・一方、現金取扱規程において、小口現金等の管理方法が明確ではないなどの指摘もあったことから、令和7年度中に必要な改定を行い、適正に運用するよう求める。	
A	B	C	D								
・平等利用に係る取組や環境配慮等、適切な管理運営を行っており、要求水準は満たしていると認められる。	・なお、指定管理者監査において、会計規程に定める出納責任者がどの役職の者を指すのかが明確では無いとの指摘を受けたため改善指導を行ったところ、是正が確認されたことから、要求水準は満たしたと認められる。	・一方、現金取扱規程において、小口現金等の管理方法が明確ではないなどの指摘もあったことから、令和7年度中に必要な改定を行い、適正に運用するよう求める。									

	▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>第1回 7月22日</td><td>・令和6年6月末事業進捗状況について</td></tr><tr><td>第2回 11月28日</td><td>・令和6年10月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの実施について</td></tr><tr><td>第3回 3月24日</td><td>・令和7年2月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの結果について ・令和7年度事業計画と予算について</td></tr></table> <協議会メンバー> ・札幌市教育委員会生涯学習推進課長 ・札幌市豊平区地域振興課長 ・札幌市立月寒小学校長 ・サークル代表 ・札幌市月寒公民館運営委員会会長 ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ・資金管理については、指定管理業務として経理処理を実施しており、税理士による外部会計監査を導入している。 ・現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備しており、厳正、適正な処理を行っている。 ▽ 要望・苦情対応 ・ご意見や要望に関しては、館長、館長代理を中心として誠意をもって迅速な対応(場合によっては市教委と連携)をとる体制を整えてきている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ・セルフモニタリングをR7年1月に実施し、857人の方から回答を得た。 ・モニタリングの結果(要望、意見)については「運営委員会」「運営協議会」において検討した。 ・モニタリングに関する返答・回答等は、一か月間公民館掲示板に掲載し、利用者に周知を図った。	開催回	協議・報告内容	第1回 7月22日	・令和6年6月末事業進捗状況について	第2回 11月28日	・令和6年10月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの実施について	第3回 3月24日	・令和7年2月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの結果について ・令和7年度事業計画と予算について	・概ね適正に対応できたが、現金取扱規程に一部記載が不十分な点があり、改定した。 ・適正に対応できた。 ・適正に対応できた。
開催回	協議・報告内容									
第1回 7月22日	・令和6年6月末事業進捗状況について									
第2回 11月28日	・令和6年10月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの実施について									
第3回 3月24日	・令和7年2月末事業進捗状況について ・セルフモニタリングの結果について ・令和7年度事業計画と予算について									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ・職員は、1週37.5時間 1日7.5時間の労働時間をしている。 ・職員の給与は、月給制であり、時間給に換算しても最低賃金以上の賃金を支給している。 ・職員には、労災保険、雇用保険に加入させている。 ・職員には年1回定期健康診断を受診させている。 ・労働基準監督署からの行政指導は受けていない。 ・指定管理者の申請時に提出したワークライフバランスの取組については適切に実施した。 ・職員個々が市民サービスの向上、管理経費の縮減に意欲をもって取り組めるよう職場労働環境を整えている。	・労働関係法令を遵守し、良好な雇用環境の維持を進め、働きやすい職場環境を構築してきた。								
	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ・今後も労働関係法令の遵守、雇用環境の向上に向けた取組を継続していただきたい。	A	B	C	D					
A	B	C	D							

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ・利用者の安全については、職員が随時、館内を巡視し適宜留意している。 ・拾得物取扱いについては、拾得物保管記録簿に記載し、利用者がわかるよう展示するなど、遺失物拾得法に準じてサービス向上に努めた。 ・損害賠償保険については仕様書に定められた内容に適合した公民館総合保障制度に継続加入している。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ・仕様書の記載に照らして施設設備の維持管理については適切に実施した。 ・清掃、警備、除排雪、外構緑地、各種設備保守(エレベーター、消防設備、電気工作物、自動ドア、暖房機)は第三者委託により日常・定期・随時として実施した。 ・防火対象物点検報告特例認定を継続して受け、万全を期している。 ▽ 防災 防災計画に基づき、避難訓練を実施した。また、安心・安全の充実を目指し講師を招いて職員を対象としたAEDの実技研修も行った。なお、職員向け通報訓練は今夏に、利用者も参加しての避難訓練については初夏に再開予定。	・利用者の視点に立ち、安全・安心な施設であることを心がけ、実践できた。 ・適切に実践できた。 利用者にとって安全な防災体制を日ごろから実践し、安心して利用していただけるよう心掛けた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">・要求水準を十分に満たした管理であると認められる。今後も適切な維持管理による安全確保をお願いしたい。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・AEDの実技研修や職員向けの通報訓練など、少しずつ従前の訓練等を再開したことは評価できる。 ・引き続き、消防訓練等の再開に向けて検討をお願いしたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	・要求水準を十分に満たした管理であると認められる。今後も適切な維持管理による安全確保をお願いしたい。				・AEDの実技研修や職員向けの通報訓練など、少しずつ従前の訓練等を再開したことは評価できる。 ・引き続き、消防訓練等の再開に向けて検討をお願いしたい。			
A	B	C	D												
・要求水準を十分に満たした管理であると認められる。今後も適切な維持管理による安全確保をお願いしたい。															
・AEDの実技研修や職員向けの通報訓練など、少しずつ従前の訓練等を再開したことは評価できる。 ・引き続き、消防訓練等の再開に向けて検討をお願いしたい。															
(4)事業の計画・実施業務	▽ 高齢者に関する学習機会の提供業務(創造学園) ・有意義な受講にすべく、受講者のニーズに基づいた内容とするなど様々なテーマで講座を企画し、学園活動を展開した。 ▽ 公民館講座に関する学習機会の提供業務 ・講座内容に十分配慮しながら14講座、延べ82時間実施した。人員数や会場等にも考慮した中で開催し受講者数252人、受講率99.2%であった。 ▽ 文化的展示会等の開催に関する業務 ・実施を予定していたものの、衆議院議員選挙のが急遽行れることとなり、会場が投票所として使用されたため、やむを得ず中止となった。	多様な学習形態を工夫する中で、ほぼ予定通り開講できていた。 ・通常年度に近い講座数で実施し、講師さんの工夫もあり、受講者の満足度も高い内容で開催できた。 ・計画していたものの衆議院選挙のため未実施。令和7年度は予定どおり実施したい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">・講座内容の検討など、さまざまな工夫を凝らしながら事業を実施し、市民に学びの機会を提供したことは評価できる。 ・今後も市民ニーズの把握に努め、多くの住民が集う地域の中核施設となるよう運営していただきたい。 ・施設開放事業の「囲碁」については、従前からの参加者が、公民館の貸室を利用して活動している、</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	・講座内容の検討など、さまざまな工夫を凝らしながら事業を実施し、市民に学びの機会を提供したことは評価できる。 ・今後も市民ニーズの把握に努め、多くの住民が集う地域の中核施設となるよう運営していただきたい。 ・施設開放事業の「囲碁」については、従前からの参加者が、公民館の貸室を利用して活動している、							
A	B	C	D												
・講座内容の検討など、さまざまな工夫を凝らしながら事業を実施し、市民に学びの機会を提供したことは評価できる。 ・今後も市民ニーズの把握に努め、多くの住民が集う地域の中核施設となるよう運営していただきたい。 ・施設開放事業の「囲碁」については、従前からの参加者が、公民館の貸室を利用して活動している、															

▽ 施設開放事業(無料)に関する業務

・開放事業を週1回で実施した。体育室の利用者(卓球・バドミントン)は新規の方を含め、増加傾向にある。しかし、和室で対面で行っている囲碁に関しては参加数が激減し、利用者が0の日が続くなどしている現状及び、参加者がサークルに入るなどしたため事業を廃止。

・週1回の再開であるが体育室の利用者は増えて、以前の水準になりつつある。しかし、和室での囲碁は、利用がない日が続いているので廃止した。

創造学園修了生による自主サークルへと移行したことにより、施設開放事業のニーズが減少したものである。このことは、公民館における日頃の学習機会提供事業が住民同士の繋がりを作り、それが自主活動に繋がった事例として非常に評価できる。なお、これに伴い、自主サークルの活動が月2回から月4回に増えたため、公民館としてはその分の貸室の料金収入が得られるようになった。

▽ 図書に関する業務

・来館者数11,123人(一般10,342、児童781人)
 ・貸出冊数12,946冊(一般10,822冊、児童2,124冊)
 ・読み聞かせ 2回実施 参加者24名

・前年に比べ来室者が増加しているが貸出冊数では若干減少しているものの意義ある活動となっている。

(5)施設利用
に関する業
務

▽ 利用件数等

		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績
体育室	件数(件)	1468	430	1324
	人数(人)	23470		24819
	稼働率(%)	68.0	55.4	61.5
大研修室	件数(件)	723	495	709
	人数(人)	16027		17017
	稼働率(%)	66.9	69.8	65.8
第1研修室	件数(件)	449	612	507
	人数(人)	3434		4366
	稼働率(%)			
第2研修室	件数(件)	267	377	307
	人数(人)	1780		1804
	稼働率(%)			
第1・2 研修室	件数(件)	600	220	606
	人数(人)	3318		2965
	稼働率(%)	60.9	66.5	65.9
第3研修室	件数(件)	518	263	548
	人数(人)	11434		13306
	稼働率(%)	48.0	45.4	50.9
料理室	件数(件)	308	280	343
	人数(人)	3907		4983
	稼働率(%)	28.5	35.4	31.8
和室	件数(件)	727	610	719
	人数(人)	6081		6540
	稼働率(%)	67.3	66.0	66.8
第4研修室	件数(件)	910	761	859
	人数(人)	6193		6058
	稼働率(%)	84.3	75.3	79.8
総計	件数(件)	5970	4048	5922
	人数(人)	75644		81858
	稼働率(%)	61.4	60.6	61.1

▽ 不承認 0件、 取消し 0件、 減免 0件、 還付 9件

▽ 利用促進の取組

・利用者の健康・安全を第一に、実施可能な事業に関しては、積極的にPRを行い、利用促進に取り組んできた。

・ホームページ等の媒体を活用して積極的な広報を行った。利用率向上を目指し、各事業のPRを含めた広報に努めた。
・貸室の鍵の管理について、利用者が紛失した際の対応に不備があった。

A	B	C	D
・貸室の利用率について、昨年度から引き続き高水準を維持していることは非常に評価できる。 ・一方、指定管理者監査において、貸室の鍵について、利用者との受け渡し時の管理が不十分だったために紛失し、その事を市教委への報告が行われていなかった事例があったことから、改善を求められたところ。本件については、貸与簿の整備や、鍵の受け渡しの際に複数の職員で対応するなど、改善が図られたことを確認している。			

(6)付随業務	▽ 広報業務 ・ホームページの中で公民館の概要を周知し、主催講座や創造学園の講義状況、図書事業等の様子を掲載してきた。その他、活動のPRとして、館内のチラシ掲示、町内会回覧板、広報さっぽろ等を活用してきた。文化祭のポスターは近隣の幼保小中高校に掲示を依頼した。また、ウェブアクセシビリティ取り組み確認を実施し、ホームページで公開している。 ▽ 引継ぎ業務 ・継続指定のため、引継ぎはない。	・各種媒体を活用し、可能な限り事前告知を行いPRをしてきた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">・町内会の回覧板・広報誌等の活用、更新頻度の高いHP運用ほか、近隣の学校等へも広報活動を行うなど、積極的な広報を行っていると非常に評価できる。引き続き広報の充実に努めていただきたい。</td></tr></table>	A	B	C	D	・町内会の回覧板・広報誌等の活用、更新頻度の高いHP運用ほか、近隣の学校等へも広報活動を行うなど、積極的な広報を行っていると非常に評価できる。引き続き広報の充実に努めていただきたい。						
A	B	C	D											
・町内会の回覧板・広報誌等の活用、更新頻度の高いHP運用ほか、近隣の学校等へも広報活動を行うなど、積極的な広報を行っていると非常に評価できる。引き続き広報の充実に努めていただきたい。														
2 自主事業その他														
▽ 自主事業 ・実施していない。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・物的管理(清掃業務、警備業務、自動ドア点検業務、消防設備点検業務、エレベーター管理業務、電気保守管理業務、除排雪業務、外構緑地整備業務)すべてについて、市内企業を活用している。 ・月寒地区福祉のまち推進センターの活動を、協力、サポートをする中で、地域の福祉に貢献してきた。	・これまで同様に引き続き、市内企業の全面活用ができた。「福祉のまち推進センター」との連携事業等については開催できしており、協力関係は維持、継続を図っている。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">・すべての管理業務について市内企業を活用できていることは評価できる。</td></tr><tr><td colspan="4">・福祉のまち推進センターとの連携についても、地域福祉の推進に寄与していることを評価するとともに、今後も継続して取り組まれることに期待したい。</td></tr></table>	A	B	C	D	・すべての管理業務について市内企業を活用できていることは評価できる。				・福祉のまち推進センターとの連携についても、地域福祉の推進に寄与していることを評価するとともに、今後も継続して取り組まれることに期待したい。			
A	B	C	D											
・すべての管理業務について市内企業を活用できていることは評価できる。														
・福祉のまち推進センターとの連携についても、地域福祉の推進に寄与していることを評価するとともに、今後も継続して取り組まれることに期待したい。														

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	・実施期間 令和7年1月4日～1月31日 ・来館者857人よりアンケート回収		A B C D
結果概要	■利用目的 サークル活動 73% 会議 7% 開放事業 1% 講座6% その他 13% ■職員の接客態度 大変よかった 44% まあよかった 29% 普通 27% あまりよくない 0% 悪い 0% ■館内の清掃状態 とてもよい 36% よい 45% 普通 19% 悪い0% とても悪い 0% ■設備の管理状態 とてもよい 28% よい 45% 普通 26% 悪い 1% とても悪い 0% ■備品の管理状態 とてもよい 22% よい 46% 普通 31% 悪い1% とても悪い 0% ■利用満足度 とても満足 32% まあ満足45% 普通22% 少し不満 1% ■図書室の満足度 とても満足 16% まあ満足 32% 普通 41% 少し不満9% 不満 2% ■各種講座の満足度(未回答を除いて集計) ・あへあほ体操 参加 8名 満足 87.5% まあ満足 12.5% ・初めての健康マージャン 参加 26名 満足 75% まあ満足 25.0% ・ウクレレ 参加 28名 満足 75% まあ満足 25.0% ・初心者向けズンバ 参加 15名 満足 85.7% まあ満足 14.3% ・よくばりイタリア語 参加 18名 満足100.0% ・はじめての絵手紙 参加 9名 満足 100.0% ・健康太極拳 参加 20名 満足 92.8% まあ満足 7.2% ・伝筆 参加 18名 満足 100.0% ・スマホ 参加 12名 満足 41.7% まあ満足 58.3% ・ふれあい講座(小学生対象) 参加 39名 おもしろかった 71.1% 簡単だった 21.1% むずかしかった 7.9% ・はじめての三味線 参加 11名 満足 100.0% ・ナイトピラティス 参加 20名 満足 100% ・手打ちそば 参加 22名 満足 95.5% まあ満足 4.5%	・利用者に対する接遇については、一定の成果が出ているが、さらに満足度が高まるように向上を図っていききたい。 ・意見や要望の中で対応できることには迅速にあたり、公民館を利用しやすい施設とすべく改善を図ることができた。	・館内の清掃状態について、満足度が要求水準の80%を超えており、衛生環境に配慮した運営がなされていることを評価できる。 ・一方、利用満足度や職員の接客等については、わずかではあるが要求水準の80%に届いておらず、改善の余地があるものと思われる。 ・施設の老朽化が進み、予算も限られている中ではあるが、今後も利用者の満足度向上に向けたサービスの提供をお願いしたい。

利用者
からの
意見・要
望とそ
の対応

■駐車場が狭い。

○回答：毎年多く出される声ですが、物理的な広さと出退庫の不便さは解消できないのが現状です。できるだけ公共交通機関をご利用をお願いします。

■室温を適切な温度に保ってほしい

○回答：特に冬の暖房については、温度管理を心掛けておりますが、利用者の方々にも省エネと節電へのご理解とご協力をお願いします。

■図書室の本が少ない。新刊が少ない。

○回答：限られた予算内で、蔵書を多くする努力は継続してまいります。また書架のスペースにも制限がありますが、新刊の入荷についても配慮していきたいと思います。

■図書室を市のネットワークにつなげてほしい。

○回答：予算の関係から早急に対応ということにはなりません、今後も検討・要望していきます。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	51,381	52,909	1,528
指定管理業務収入	51,381	52,909	1,528
指定管理費	37,404	37,404	0
利用料金	13,387	14,648	1,261
その他	590	857	267
自主事業収入	0	0	0
支出	51,311	52,636	1,325
指定管理業務支出	51,311	52,636	1,325
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	70	273	203
利益還元	0	0	0
法人税等	70	119	49
純利益	0	154	154

▽ 説明

・利用件数と利用率が伸び、それに伴い利用料金の増収につながった。これは各サークル等の活動が新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に戻りつつあることや、アクセスの利便性が高いため当館を利用したいとする利用者が増加したと考えられる。

・電気代や燃料費の高騰はあったが、各事業や利用者の活動が再開されたことで、上記の利用料金の増収部分で十分にまかなうことができています。

・コロナの影響が薄れ、事業・活動等が再開され、計画に準じた、また予想以上の活動ができた。

A B C D

・光熱費が高騰する中、電気・冷暖房の使用を節約しながら、貸室利用率の増加や講座受講者の増加に伴う増収により対応することができたことは高く評価したい。

・引き続き、貸室利用率の向上、各種事業参加者の増に努めていきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

・利用者数、利用件数、利用料について、昨年度から引き続き高い水準で稼働している。

夏の高温にも配慮し利用者の健康と安全を確保しながらも、安心して利用していただける環境を整えていたい。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

・各事業の規定に則り、適切に対応した。

・平成26年度から暴力団排除に関する条例に基づき市民(公民館利用者)が安心して公民館を利用できるよう、関係機関と連携して対応してきた。また、物的管理(第三者委託)に関しても、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方とはしない基本理念に沿って対応し、契約条項に明示することとした。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
・仕様書で定められた各種事業、講座の開催等は計画通り実施できた。 ・貸室の利用率が昨年度に引き続き高い水準にあり、利用料金が増収しているため、電気代、燃料費をはじめとする諸物価の上昇に対して対処できた。 ・まちづくり協議会や青少年育成委員会の事業活動など実施、開催も多く、公民館としてそれらの対策に関してサポートする形で支援を行った。 ・セルフモニタリングの結果から、公民館に対し概ね肯定的な評価をいただけていることから、今後も利用者にとって満足度が高い充実した公民館を目指し、運営に励みたい。	・昨今の気温上昇などを踏まえ、熱中症を考慮し、利用者の健康と安全を第一に考えた運営を行っていききたい。 ・公民館運営の基本理念である「集う」「学び」「結び」を念頭に、引き続き利用者並びに地域住民のニーズに応えられる事業が展開できるよう努力していききたい。 ・利用者の4割強が65歳以上であることから、特に福祉施策について関係団体との連携を図っていききたい。そして地域にとって欠くことのできない施設として、一層の発展を目指していききたい。 ・利用者に対しては、問い合わせ対応も含め、きめ細かく丁寧な対応を心がけ満足感をもってもらえるように日常運営に取り組みたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
・仕様書に定めた各種事業について、利用者満足度の高い、上質な運営管理を行っていることを評価する。 ・また、単なる貸室業務だけでなく、高齢者教室や講座等では市民ニーズを的確に捉えた講座を展開するなど、地域に根差した公民館運営を行っていることも評価できる。 ・物価等の高騰により支出が増加する中でもプラス収支となったことは高く評価する。 ・今後も市民ニーズの把握に努め、各種事業をブラッシュアップしながら、利用者数や市民満足度の向上、収益の更なる確保に努めていただきたい。 ・引き続き地域における社会活動・生涯学習の中核施設として、市民に親しまれる施設となることを期待する。	・指定管理者監査で求められた現金等取扱規程における小口現金の取り扱いの明示、現金等管理規定の整備については、令和7年度中に必要な改正を行うこととしている。 ・同じく指定管理者監査で指摘された会計規定において出納責任者を定める点についても所要の改正を行っており、是正を確認した。 ・また、貸室の鍵の管理方法については、鍵の返却時に複数の職員で対応するなど、事務フローの見直しが必要で、紛失した際には教育委員会へ報告するよう、職員に徹底されている。